

21期第10回麻雀大会結果

於:2017.06.18

	氏名	一回戦			二回戦			三回戦			合計	
		卓番号	勝点	点数	卓番号	勝点	点数	卓番号	勝点	点数	勝点	点数
1	竹田	C	4	35	B	6	46	A	6	22	16	103
2	今川	A	6	22	A	4	17	A	-1	-4	9	35
3	吉相	D	-2	-10	D	6	31	B	6	32	6	53
4	榎原	B	6	0	A	-41	-4	B	4	3	6	-38
5	山住	C	-4	-27	E	4	34	C	4	41	4	48
6	阪	E	4	38	A	2	10	A	-2	-6	4	42
7	竹田(19期)	C	2	6	B	-2	-16	C	2	7	3	-3
8	森口	A	0	-8	C	6	-1	A	-3	-12	3	-21
9	安元	B	-1	-8		-3	-8	E	6	61	2	40
10	山田	D	8	34	A	-2	-17	B	-4	-31	2	-48
11	中村	A	-3	-11		-2	-11		6	34	1	12
12	和田	C	-2	-14		-3	-18	E	4	36	-1	4
13	大和	E	2	7		-3	-25		-2	-15	-3	-18
14	田村	D	-1	-6	C	-2	-6		-2	-15	-4	-14
15	森田	E	-4	-33	2	0	-3		-2	-15	-4	-48
16	井上	B	-2	-4		-1	-3		-3	-17	-6	-24
17	本山	E	-2	-12		-2	-10		-2	-18	-6	-40
18	池内	A	-1	-3		-1	-5		-4	-33	-6	-41
19	兎玉	B	0	-1	C	-3	-10	D	-4	-15	-5	-26
20	梅村	D	-3	-18		-4	-23		-1	-7	-8	-48

※ 女性はハンデ2をプラス

* 勝点計算

◇ゲーム終了時に1人だけ3万点以上の場合

①6点 ②-1点 ③-2点 ④-3点

◇ゲーム終了時に2人が3万点以上の場合

①4点 ②2点 ③-2点 ④-4点

◇ゲーム終了時に3人が3万点以上の場合

①3点 ②2点 ③1点 ④-6点



高津21期第10回麻雀大会開催しました。（6月18日）

竹田君がしぶとく初戴冠

勝負の綾に翻弄されるA卓

第10回を数える21期麻雀大会。19期から力自慢の大御所が参戦してきた。竹田さんである。次回には、20期から「卓上の舞姫」も参戦と聞く。それでも、3勝の中村君、連対率6割を誇る大和君（2.3.0.3）が中心であることには、変わりがない。ところが、中村君が初戦、大和君が2戦目で躓いた。

そんななか、歓声上がるのは、女性が入った卓である。門前清一色（メンチン）平和（ピンフー）一盃口（イーペイコー）の倍満を仕上げたのは山田さん。この上がりでももちろんトップであった。また、第2戦では、全員が沈んだなか、際どくトップを取りきったのが森口さん。第3戦で驚かされたのが安元さん。なんと上がりに上がって、+61。21期麻雀大会の半荘（はんちゃん）のレコード樹立である。

この安元さん、今日、会場のMaison H2（メゾン・アッシュ・ドゥ）に来るや、大和君や吉相君に、にわかレッスンを受け、いきなりの実践に挑んだ強女である。いくら後ろで堺井君の指南があったとはいえ、この快挙である。今後が楽しみな女流雀士の出現である。

最終A卓の勝負の行方が面白い。2連勝で勝ち点10を持つのが、竹田君と私・今川。勝ち点6で阪君と森口さんが追う。東の一局、当面のライバルである竹田君から親満を打ち取ったのが私・今川。この後、懸命に追い上げを図るのが阪君。じわじわ私を追い詰める。しかし、私は余裕であった。仮に阪君がトップでも、私は浮いてさえいれば、+2点が入り持ち点12点。阪君がトップでも持ち点10点で、ひっくり返らない。

ずっと慎重な打牌を進めてきた阪君の手配が止まった。親満を打って、深く潜行していた竹田君。「誰も俺のことを注目してくれない」とぼやくことしきり。その竹田君からリーチが入ったからだ。私は、阪君を警戒していた。打ち込んで沈められては元も子もないからである。ここ2回の闇の当たり牌もうまく押さえている。捨て牌からは、ホンイツ（混一色）に見えるが、他の待ちの可能性も充分ある。阪君は珍しく強打した。しかし、これが竹田君への満貫の放銃（ホウチャン）となった。

おそらく、阪君の今日初めての強い打牌であった。勝負であった。勝負しなければならない時でもあった。待ちはやはりホンイツ（混一色）ではない色で待っていた。これが勝負の綾である。阪君は万事休した。これで、今川が断然有利となったように思えた。ところが、これからの竹田君が強い。森口さんのリーチの網の目をかいくぐって、追いかけてきた。私は、心の中で森口さんを応援していた。森口さんが上がれば、私の優勝がグッと近くなるが、森口さんが上がれず、竹田君がしぶとく聴牌（テンパイ）を続けた。

そして、オーラス。竹田君の親。またしても森口さんがリーチ。
「上がりきってくれ！」の私の願いも通じず、その局は流れた。竹田君は、それでも聴牌（テンパイ）をして、私と僅差まで追い上げてきた。竹田君親の1本場。竹田君にリーチが入った。私は、今日初めて勝負にいった。通れば闇でも上がれる三面張（さんめんちゃん）。勝負であった。勝負をする時であった。私は、強打した。無情にも竹田君の当たり牌であった。

最終を知らせる打鐘が鳴った。最後は、満貫の手作りをした。七対子ドラ2の一向聴（イーシャンテン）が精一杯であった。

竹田君の初優勝であった。阪君にもチャンスがあった。私にもチャンスがあった。「チャンス」は「ピンチ」とよく言うように、そのチャンスに勝負に出て、女神を逃してしまった。これは、A卓だからこそ起こる罫でもあるように思えるのだった。

今川連絡先

PCメール ckchp000@sutv.zaq.ne.jp

携帯メール longalive@softbank.ne.jp

電話 090-9704-0435

★メゾンアッシュドゥ(Maison H2)→ [Google ストリートビュー](#)